

平成7年度 (平成7年3月1日から 平成8年2月29日まで) 事業計画

目 次

I. 総合企画・共通分野の事業	N343	6. 研究協議会	N344
特記事項	7. 研究会	N344
1. 会議	8. 重点研究制度による研究	N344
2. 助成事業	9. 書籍等の頒布	N344
2.1 次世代鉄鋼奨学制度の新設	III. 生産技術部門の事業	N345
2.2 鉄鋼研究振興助成および石原・浅田研究助成	特記事項	N345
2.3 日向方斉学術振興交付金	1. 会議	N345
2.4 外国人研究員奨学	2. 分野別交流・研究(分野別部会)	N345
3. 表彰事業	3. 分野横断研究	N346
3.1 特別表彰	3.1 技術検討部会	N346
3.2 一般表彰	3.2 日本圧力容器研究会議	N346
3.3 特別講演会	3.3 研究会	N346
4. 創立80周年記念事業	4. 国際会議	N346
4.1 記念式典	4.1 日本・中国鉄鋼学会議	N346
4.2 事業	4.2 ICS'96(世界製鋼会議)	N346
5. その他	4.3 日本・ドイツセミナー	N346
II. 学会部門の事業	5. 育成事業	N346
特記事項	5.1 技術育成	N346
1. 会議	5.2 人材育成	N346
2. 会報・論文誌の刊行	5.3 プレゼンス	N346
2.1 新会報	6. 技術情報事業	N347
2.2 「鉄と鋼」	IV. 支部	N347
2.3 「ISIJ International」	1. 事業	N347
3. 講演大会	1.1 北海道支部	N347
3.1 第129回(春季)講演大会	1.2 東北支部	N347
3.2 第130回(秋季)講演大会	1.3 北陸支部	N348
3.3 「材料とプロセス」発行	1.4 東海支部	N348
4. 専門分野別部会	1.5 関西支部	N348
4.1 高温プロセス部会	1.6 中国四国支部	N349
4.2 社会鉄鋼工学部会	1.7 九州支部	N349
4.3 計測・制御・システム工学部会	2. 収支予算	N350
4.4 創形創質工学部会	V. 平成7年度収支予算	N350
4.5 材料の組織と特性部会			
5. 国際会議			
5.1 第2回結晶粒成長国際会議(ICGG-II)			
5.2 第4回高濃度窒素鋼国際会議(HNS-95)			

I. 総合企画・共通分野の事業

特記事項

1. 「リストラ80」計画の全面実施。(ただし、支部活動に関してはH8年度に実施)
2. 協会活動は総合企画会議および学会部門、生産技術部門の2つの事業部門からなる新体制へ移行。
3. 新活動体制に対応して、事務局体制を総合企画事務局・学会部門事務局・生産技術部門事務局の3つの事務局へ再編。従来の企業からの派遣主査制度に代わり、新たに役割を明確にした「派遣スタッフ」制度を導入。
4. 権限の委譲による部門の自主的な運営と企画機能の強化等により

- 会議運営の効率化と充実化を図り、迅速で責任ある活動の実施(会議頻度や出席者の適正化による効率化と経費削減)。
5. 「シニアブレイン」制度の導入による、大所高所からの助言、提言。
6. 表彰や役員等の選考の適正化、透明性の確保。
7. 体系的で効果的な助成活動の推進、特に次世代鉄鋼奨学金制度の新設。
8. 創立80周年記念事業として、式典、特別表彰、「鉄と鋼」特集号の発行、叢書ならびに80周年史等の出版、懸賞作文の公募等を実施。

1. 会議

会議名	回数	開催月(予定)議案	議案(内容)
通常総会	1	4月	平成6年度事業報告、収支決算 平成7年度事業計画、収支予算、役員選挙等
評議員会	2	7月(書面)、2月	平成7年度事業報告、収支決算 平成8年度事業計画、収支予算、次期役員候補推薦、役員交代選挙等
理事会	6	4月(2回)、7月(書面)、11月、 H8年1月(書面)、2月	総会・評議員会提出議案及び協会活動に関する重要事項の承認。 予算・人事・特別表彰等の審議
特別選考委員会	2	11月、H8年1月	名誉会員候補の選定
総合企画会議	4	6月、9月、12月、H8年2月	・協会に関する全般的・共通的重要事項の企画、戦略及び調整事項の提案・決議。 ・学会部門と生産技術部門の融合調整。
総合企画小委員会	4	6月、9月、12月、H8年2月	同上議題の企画提案
助成委員会	4	4月、7月、9月、H8年1月	体系化された助成活動の企画・推進。 (次世代鉄鋼奨学・鉄鋼研究振興助成・日向方斉学術振興交付金等)
支部長会議	2	4月、11月	支部運営、支部活動改革案の審議

2. 助成事業

従来別々に行われてきた各種の助成活動を新設の助成委員会のもとに集約、体系的で効果的な助成を目指す。

2.1 次世代鉄鋼奨学制度の新設

鉄鋼に関する次世代の教育者、研究指導者への助成を目的として、博士課程後期の学生を対象に毎年4人を選考、1人当たり150万円/年を3年間支給。H7年度は第1回受給者の選考のみを行い、奨学金支給開始はH8年度。

2.2 鉄鋼研究振興助成および石原・浅田研究助成(特別会計による事業)

第4回の助成として総額4,300万円(基金の果実より3,800万円、一般会計より繰り入れ500万円)を56人へ支給。H7年度より標記2つの助成の運営を一本化し、30才未満の若手の受給決定者に「石原・浅田研究助成」の名称を重ねて付与。

2.3 日向方斉学術振興交付金(特別会計による事業)

春・秋2回実施。4名/回、計8名に交付予定。併せて本事業の目的の見直しを行う。

2.4 外国人研究員奨学

第1回として380万円の予算で1人の招へいを試行。効果を評価しつつ、第2回(H8年度)の計画を最終決定。

3. 表彰事業

3.1 特別表彰

俵賞、製鉄功労賞の授与 4月。

3.2 一般表彰(特別会計による事業)

日本鉄鋼協会・日本金属学会奨学賞の授与3月、渡辺義介賞、西山賞、服部賞、香村賞、渡辺三郎賞、渡辺義介記念賞、西山記念賞の授与4月、浅田賞、三島賞、林賞、山岡賞、俵論文賞、澤村論文賞、里見

賞(外部資金の受け入れによる)の授与11月

3.3 特別講演会(特別会計による事業)

- 1) 湯川メモリアルレクチャー4月
- 2) 受賞記念講演俵賞、渡辺義介賞、西山賞4月、浅田賞11月

4. 創立80周年記念事業 (特別会計による事業)

4.1 記念式典

H7.4.3経団連会館。第80回通常総会と併せ挙行。式典、特別表彰、特別講演会、祝賀会。

4.2 事業

- 1) 「鉄と鋼」創立80周年特集号(第81年第4号)の発行
- 2) 日本鉄鋼協会80年史の発行(70周年以降最近10年間の活動)
- 3) 創立80周年記念「叢書 鉄鋼技術の流れ」刊行
鉄鋼協会の有する知的財を歴史的に展望し、講義ノータ的に個人執筆するもの。第1シリーズ全10巻を逐次出版。
- 4) 懸賞作文の募集
テーマ：鉄-21世紀への夢
第1部[中学・高校]、第2部[一般・大学生]、日常生活の中で身近にある鉄の21世紀における役割・機能への期待、環境と鉄、地球にやさしい鉄づくりなど、鉄への夢または提言を書いてもらう。
入選作品の表彰はH7年11月の第130回講演大会において行う。

5. その他

- (1) 事務局を総合企画事務局、学会部門事務局、生産技術部門事務局の3つに再編、それぞれ1人の責任者(ゼネラルマネジャー)を置く。
- (2) 要員を含めた事務局業務の見直しと、効率化・活性化の推進。
- (3) 従来の派遣主査制度に代わり、役割を明確にした「派遣スタッフ」制度の導入。

II. 学会部門の事業

特記事項

- 5つの専門分野別部会の発足。
- H8年1月から従来の「鉄と鋼」の会報部分を分離し、新会報を発行。「鉄と鋼」は論文誌として名称を継承。
- 講演大会の運営見直しを行い、H7年度より参加費を「材料とプロセス」の価格に含めて徴収。
- 共同研究のための課題抽出とテーマ化を検討する場として「研究協議会」を設置。(それぞれの分野における学会部門および生産技術部門の専門家より構成)
- 従来の特基研の内、5部会を学会部門の研究会として活動を継続。新規研究会は研究協議会からの提案を部門会議で審議し、下期に設置予定。
- 重点研究制度による研究を下期から開始。

1. 会議

会議名	開催頻度 (／年)	議案 (内容)
学会部門会議	原則6回	部門運営方針の審議、決定
会報編集委員会	8～10回	会報の編集・出版
論文誌編集委員会	11回 (8月を除く毎月)	「鉄と鋼」、「ISIJ International」の編集・出版
講演大会協議会	4～6回程度	「材料とプロセス」の刊行。講演大会の企画・実施
研究協議会	必要に応じて開催	研究会テーマの検討と評価
学術企画小委員会	6回程度	学会部門の諸企画の立案。内外諸機関との連絡・調整
科研費研究小委員会	3回程度	科研費に関する事項の検討
金属プロセス専門小委員会	4回程度	日本学術会議・金研連活動の支援
一般表彰選考小委員会	3回	一般表彰授賞候補者の一次選考
論文賞選考分科会	3回	依論文賞、澤村論文賞の一次選考
専門分野別部会運営委員会	各部会で決定	専門分野別部会の事業企画、及び部会運営
機械翻訳推進分科会	2回	辞書の構築、翻訳サービスの提供

2. 会報・論文誌の刊行

- 2.1 新会報Vol.1 No.1～No.2 2冊刊行
- 2.2 鉄と鋼Vol.81 No.3～Vol.82 No.2 12冊刊行
No.4:創立80周年記念特集号「21世紀に向けて鉄鋼技術10年の軌跡」
- 2.3 ISIJ International Vol.35 No.3～Vol.36 No.2 12冊刊行
特集号 No.6:Recent Advances in Solidification
No.8:New Aspects of Microstructure in Modern Low Carbon High Strength Steels-Microstructures (LSC '94)
No.10:Recent Advances in Welding Metallurgy

3. 講演大会

- 3.1 第129回(春季)講演大会H7.4.4～6東京大学
学生ポスターセッションH7.4.5山上会館、ISIJオープンパーティ
H7.4.5山上会館
- 3.2 第130回(秋季)講演大会H7.11.3～5大阪大学
懇親会H7.11.3サンパレスホテル、ISIJオープンパーティH7.11.4場所未定
- 3.3 「材料とプロセス」発行Vol.8、No.1～No.6 6冊発行。

4. 専門分野別部会

各部会の事業計画を作成中(H7年3月まで)。事業の実行はH7年4月からとする。

- 4.1 高温プロセス部会
- 4.2 社会鉄鋼工学部会
- 4.3 計測・制御・システム工学部会
- 4.4 創形創質工学部会
- 4.5 材料の組織と特性部会

5. 国際会議

新体制発足に伴い学会部門で以下2件の継続案件を担当する。

- 5.1 第2回結晶粒成長国際会議
H7.5.17-19に北九州市、八幡ロイヤルホテルで開催予定。

5.2 第4回高濃度窒素鋼国際会議

H7.9.27-29に京都市、ホリディイン京都で開催予定。

6. 研究協議会

H7年4月より両部門の提案を受け設置する。

7. 研究会

従来の特基研部会からの研究会は活動継続。

- ①高温プロセス部会に所属
「循環性元素分離研究会」会議3回、幹事会2回合同発表会(JRCMと)
「超清浄鋼研究会」発足
 - ②材料の組織と特性部会に所属
「再結晶集合組織研究会」会議3回、幹事会2回
「鉄鋼の高強度化研究会」会議3回、WG6回、シンポジウム開催
「高強度鋼の遅れ破壊研究会」会議4回
「スクラップ起因不純物元素の鋼材への影響研究会」会議3回、幹事会2回
- 新規に発足する研究会は、研究協議会でテーマ化後、学会部門会議の承認を得たものが、H7年下期に活動開始。

8. 重点研究制度による研究

学会部門会議での審査の後、上期に応募要領などを策定し、テーマ募集開始。下期にテーマ決定。

9. 書籍等の刊行

- 1)鉄鋼の高強度化研究会報告
- 2)ステンレス鋼の耐候性研究会報告
- 3)循環性元素分離研究会報告
- 4)ネットネストシティ研究部会報告
- 5)高強度鋼板の疲労強度向上研究部会報告
- 6)鋼中介在物利用による組織と材質研究部会報告
- 7)高純度Fe-Cr合金研究部会報告

Ⅲ. 生産技術部門の事業

特記事項

- 従来の共同研究会を分野別部会に再編し、部会の統廃合を行うとともに運営の見直しを行い、費用節減と部会への大学参加を実施。
- 技術課題の抽出と技術創出を目指した技術検討(部)会、技術企画小委員会の新設。
- 国際会議の事業性を重視し、独立採算を原則。但し、小規模な国際会議および二国間シンポジウムについては、都度適正予算枠を設定し、その予算枠内で会議を運営。
- 従来育成事業を技術育成、人材育成、プレゼンスに分け、事業の目指す目的を明確化。
- 費用対効果を考慮した、技術情報事業の見直し。

1. 会議

- 生産技術部門の最高議決機関である生産技術部門会議を新設。
- 業界全体に関わる課題検討を行う調査検討部会を共同研究会から移設。

会議名	開催回数	開催月(予定)	議案(内容)
生産技術部門会議	5回	4月、6月、9月、12月、H8年2月	・部門運営に関わる前年度活動成果の総括と年度計画の審議
技術企画小委員会	5回	4月、6月、9月、12月、H8年2月	・生産技術部門における近未来、分野横断研究課題の抽出
調査検討部会	未定	未定	・分野横断的技術課題の調査・検討
国際鉄鋼技術委員会	3回	5月、9月、11月、	・IISI技術委員会活動への参画
育成委員会	4回	5月、7月、9月、H8年2月	・育成・広報活動の評価と年度計画原案の審議

2. 分野別交流・研究(分野別部会)

- 共同研究会の運営委員会、総務幹事会の機能を生産技術部門会議に吸収し、併せて部会の統廃合を行うことにより組織の抜本的簡素化を実施。
- 部会運営の見直しを行い、費用節減を図るとともに全部会への大学参加を実施予定。
- 技術課題の抽出と技術創出を目指した技術検討部会を分野別部会の下部組織として新設。

部会名	部会大会		技術検討会/研究会	特別事業
	開催回数	場所		
製鉄部会	年/1回	中山・大阪	技術検討会1(高炉炉下部制御技術検討会) /4流体の移動現象研究会(予算:学会部門)	
コークス部会	年/1回	川鉄・水島	技術検討会1(コークス炉炉体損傷・補修事例技術検討会) /新コークスプロセス工学研究会(予算:学会部門)	技術検討会報告書作成(同左検討会)
製鋼部会	年/2回	川鉄・水島、 新日鐵・八幡と住金・小倉		
電気炉部会	年/2回	中山と大阪製鐵、 東京鐵鋼・小山		
特殊鋼部会	年/2回	新日鐵・名古屋、 カントクと日金工		
厚板部会	年/2回	中部鋼鉄、NKK・京浜	技術検討会2(厚板生産技術課題、鋼板残留応力と矯正)	
熱延鋼板部会	年/2回	新日鐵・八幡、神鋼・加古川	技術検討会1(検討中)	
冷延部会	年/2回	住金・和歌山、新日鐵・君津	技術検討会1(梱包合理化等検討中)	設備資料作成
表面処理鋼板部会	年/2回	川鉄・千葉、日新・呉	技術検討会1(メッキボット廻り騒音対策等検討中)	
大形部会	年/2回	新日鐵・君津、新日鐵・堺	技術検討会2(技術交流課題等検討中)	海外調査のための英文資料作成
中小形部会	年/2回	新日鐵・室蘭、大同・知多		
線材部会	年/2回	住金・小倉、トースチール・仙台		80回部会記念誌作成
鋼管部会	年/1回	NKK・福山	技術検討会3(継目無鋼管、溶接鋼管、高級ラインパイプ)	
圧延理論部会	年/2回	NKK・京浜、東芝	技術検討会3(理論解析、圧延トライボロジー、理論将来プロセス)	百回記念誌英文版刊行
熱経済技術部会	年/2回	川鉄・千葉、住金・和歌山	技術検討会1(検討中)	鋼材オンライン温度制御技術研究小委員会報告書刊行
耐火物部会	年/2回	川鉄・千葉、新日鐵・君津		日独技術交流会議資料作成

部 会 名	部 会 大 会		技 術 検 討 会 / 研 究 会	特 別 事 業
	開 催 回 数	場 所		
制 御 技 術 部 会	年 / 2 回	神 鋼 ・ 加 古 川 ・ 横 河 電 機 研 究 発 表 会 3	技 術 検 討 会 9 (電 気 ・ 計 測 ・ プ ロ コ ン ・ ト ラ ブ ル シ ュ ー テ ィ ン グ 等)	
品 質 管 理 部 会	年 / 3 回	新 日 鐵 ・ 大 分 ・ 神 鋼 ・ 加 古 川 ・ NKK ・ 京 浜	技 術 検 討 会 14 (QAQC ・ 非 破 壊 検 査 ・ 機 械 試 験 等)	
物 流 部 会	年 / 1 回	日 新 ・ 呉	技 術 検 討 会 1 (検 討 中)	
分 析 技 術 部 会	年 / 2 回	東 京 ・ 大 阪	技 術 検 討 会 4 (鋼 中 Se-フ レ ー ム レ ス 原 子 吸 光 法 ・ 分 析 合 理 化 等)	
設 備 技 術 部 会	年 / 2 回	日 立 造 船 ・ 桜 島 ・ 日 新 ・ 呉	技 術 検 討 会 2 (鉄 鋼 設 備 自 動 化 ・ 港 湾 荷 役 設 備 の 近 代 化)	
情 報 管 理 部 会	年 / 1 回	東 京	技 術 検 討 会 2 (情 報 管 理 シ ス テ ム ・ 情 報 検 索 手 法)	

3. 分野横断研究

(1) 分野横断的課題を検討する組織として2つの技術検討部会を境界領域委員会および基礎研究会から移設。更に、2部会新設予定。

部会、会議、研究会	議 案 (内容)
3.1 技術検討部会	
自動車用材料検討部会	・ H6年度の活動を継続 ・ シンポジウムの開催とテキスト刊行
実用構造用鋼の 基礎特性技術検討部会 技術検討部会(新規部会)	・ H6年度の活動を継続(H6.3～H9.2) ・ H7年度に新規部会として2部会発足予定
3.2 日本圧力容器研究会議(特別会計)	
日本圧力容器研究会議 (材料部会)	・ 運営委員会(年3回) ・ 圧力容器用鋼材専門委員会(年4回) ・ 水素脆化専門委員会(年4回) ・ 非破壊試験専門委員会(年4回) ・ データ収集委員会(年4回)
3.3 研究会	
ステンレス鋼の耐候性研究会	・ 報告書作成とシンポジウムの開催(東京) ・ H7年度終了予定(H4.4～H8.2)
鉄鋼スラグの基礎と応用研究会 耐火物の組織評価研究会	・ H6年度の活動を継続(H5.5～H9.2) ・ H6年度の活動を継続 (H6.6～H11.2)

4. 国際会議

- (1) 国際交流委員会の機能を生産技術部門会議に吸収。
(2) 事業性を重視し、独立採算を原則。但し、小規模な国際会議および二国間シンポジウムについては、都度適正予算枠を設定し、その予算枠内で会議を運営。
(3) 従来の事務局業務は、極力組織委員会または外注化にて対応。

会 議 名	議 案 (内容)
4.1 日本・中国鉄鋼学会会議	
日本・中国鉄鋼学会会議 組織委員会	第7回会議をH7.11に海口で開催予定
4.2 ICS' 96	
世界製鋼会議組織委員会	第1回世界製鋼会議をH8.4.22 - 24に川鉄・千葉研修センター、みやぎき倶楽部で開催予定
4.3 日本・ドイツセミナー	
日本・ドイツセミナー組織委員会	第9回セミナーをH8.9に開催予定

5. 育成事業

- (1) 従来事業を技術育成、人材育成、プレゼンスに分け、事業の目指す目的を明確化。
(2) 教科書編纂分科会を新設(H8年度末発刊予定)。
(3) 広報分科会を新設し、高校生向けパンフレット製作と学生会員の海外研修を実施予定。

分 科 会	議 案 (内容)
5.1 技術育成	
技術講座分科会	・ 西山記念技術講座(年4回)…(西山弥太郎記念資金) 「条鋼における製造技術と製品の最近の動向」 「厚板・溶接」 ・ 白石記念講座(年3回)…(白石元治郎記念資金) 「21世紀に向けての新材料開発の潮流」 「製造業における情報化戦略」
知的財分科会	・ 「叢書 鉄鋼技術の流れ」4巻刊行 第3巻 「製鉄・製鋼用耐火物」(H7.4) 第1巻 「高炉反応」(H7.7) 第2巻 「2次精錬」(H7.10) 第4巻 「制御圧延・制御冷却」(H8.1)
連鑄技術史分科会	・ 連鑄技術史の出版(H8.2)……(外島健吉記念資金)
5.2 人材育成	
教科書編纂分科会	・ 「解いてわかる材料工学」(H9.2)編纂の準備 第1巻材料創製プロセス 第2巻材料の組織と強度
鉄鋼工学セミナー分科会	・ 第21回鉄鋼工学セミナー(H7.7～8、宮城県蔵王町) ・ 第3回鉄鋼工学アドバンスセミナー(H7.11～12)
5.3 プレゼンス	
広報分科会	・ 高校生向けパンフレットの製作等 ・ ISIJ学生会員の海外研修(H7.3)
学生プレゼンス分科会	・ 第10回学生見学会(H7.3、全国18会場)……(企業分担金)
ものづくり教育分科会	・ ものづくり教育を考える会を北海道、北陸、東海、関西の4支部で開催予定。

6. 技術情報事業

- (1) 日本学術振興会製鋼第19委員会、製鉄第54委員会資料のマイクロフィッシュ作成および共同研究会資料索引誌の作成を廃止。
 (2) 分野別部会資料のマイクロフィッシュ化は継続するが、閲覧、貸出業務は廃止。
 (3) JICST(JOIS)技術文献の抄録、校閲件数を半減。平成7年度末に廃止予定。

事業名	議案(内容)
分野別部会資料のマイクロフィッシュ化	分野別部会に提出された全資料のマイクロフィッシュ化とその頒布
JICST(JOIS)技術文献の抄録、校閲	JICSTの科学技術文献データベースの抄録、校閲、抄録 4,200件、校閲2,900件
刊行物	以下の刊行物を12冊刊行予定 (P-19、20参照) 分野別部会：2冊 技術検討部会：1冊 育成委員会技術育成：9冊

V. 支部

1. 事業

1.1 北海道支部

1) 運営関係

- (1) 総会 定例 H8.1.18 (2) 理事会 2回開催。H7.6、H7.12 (3) 評議員会 2回開催。H7.7.13、H8.1.1.18
 (4) 支部研究会企画委員会 3回開催。～H8.1 (5) 支部活性化検討会 3回開催。～H7.9

2) 事業関係

(1) 研究会

名称	共催・後援団体	開催日	会場	主な内容
素材製造技術研究会第1回	日本金属学会北海道支部	H7.7	北海道大学	特別講演 講師 未定、一般講演
” 第2回	”	H7.12	室蘭工大学	特別講演 講師 未定、一般講演
鋼材・新素材研究会第1回	”	H7.7	北海道大学	特別講演 講師 未定、一般講演
” 第2回	”	H7.12	室蘭工大学	特別講演 講師 未定、一般講演

(2) 講演会・講習会・シンポジウム

名称	共催・後援団体	開催日	会場	講師等	参加者数
湯川記念講演会第1回	日本金属学会北海道支部	H7.7.13	室蘭工大学	未定	
” 第2回	”	H8.1.18	北海道大学	未定	
夏季講演大会	”	H7.7.13~14	室蘭工大学	一般講演件数 約70件	
冬季講演大会	”	H8.1.18~19	北海道大学	企画講演件数 約6件 一般講演件数 約70件	

(3) その他の事業 ①「ものづくり教育を考える会」実行委員会

- ②平成8年度本部主催第132回秋季講演大会(H8.9.28～30)の準備

1.2 東北支部

1) 運営関係

- (1) 理事会 2回開催。H7.6、H8.2

2) 事業関係

(1) 研究会

名称	共催・後援団体	開催日	会場	主な内容
素材工学研究所研究懇談会		未定	東北大学素材工学研究所	
難処理希少資源研究センター研究懇談会		未定	東北大学素材工学研究所	
プロセス工学研究会		未定	未定	

(2) 講演会・講習会・シンポジウム

名称	共催・後援団体	開催日	会場	講師等	参加者数
湯川記念講演会		H7.11頃	盛岡		
金属関係六学協会 東北支部連合シンポジウム		未定	未定		
第1回地区講演会		未定	仙台		
第2回地区講演会		未定	秋田		
特別講演会(数件程度予定)					

(3) 見学会 仙台地区の予定、日時未定。

- (4) その他の事業 創立50周年記念事業 記念出版、記念祝賀会(詳細未定)

1.3 北陸支部

1) 運営関係

(1)総会 H7.12 (2)評議員会 2回開催 H7.6、H7.12 (3)理事会 2回開催 H7.6、H7.12

2) 事業関係

(1)研究会

名称	共催・後援団体	開催日	会場	主な内容
富山地区材料部会		4回	未定	課題テーマ討論会、講演会
富山地区研究会		1回	未定	未定
福井地区研究会材料フォーラム		4回	未定	未定
石川地区研究会		1回	未定	未定
新潟地区研究会		1回	未定	未定
長野地区材料セミナー		4回	未定	未定

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名称	共催・後援団体	開催日	会場	講師等	参加者数
湯川記念講演会	日本金属学会北陸信越支部	H7	未定	未定	
支部連合講演会	〃	H7	富山大学(予定)	未定	
富山地区特別講演会	〃	1回	未定	未定	
福井地区研究会特別講演会	〃	1回	未定	未定	
石川地区特別講演会	〃	1回	未定	未定	
新潟地区特別講演会	〃	1回	未定	未定	
長野地区特別講演会	〃	1回	未定	未定	

1.4 東海支部

1) 運営関係

(1)総会 H7.3.14 (2)評議員会 なし (3)理事会 5回開催 H7.3.14(新旧役員会)、H7.5、H7.8、H7.10、H8.2

2) 事業関係

(1)研究会

名称	共催・後援団体	開催日	会場	主な内容
若手冶金エンジニア研究会		3回		
若手材料研究会		3回		

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名称	共催・後援団体	開催日	会場	講師等	参加者数
学術討論会		1回			
特別講演会		2回			
湯川記念講演会		2回			
金属材料談話会		4回			
材料プロセッシング談話会		4回			

(3)育成事業 学生による材料フォーラム H7.12

(4)その他の事業 ①見学会 1回 ②ものづくり教育を考える会

1.5 関西支部

1) 運営関係

(1)総会 H7.3.27 (2)評議員会 2回開催 H7.3.27、H7.9 (3)理事会 5回開催 H7.3.27、H7.6、H7.9、H7.11、H8.2

(4)各種委員会 ①企画小委員会 2回 ②学術運営小委員会 2回 ③財務広報小委員会 2回 ④材料評価セミナー運営委員会 2回

2) 事業関係

(1)研究会

名称	共催・後援団体	開催日	会場	主な内容
材料物性工学談話会	日本金属学会関西支部	3回		
鉄鋼プロセス研究会	〃	4回		
材料開発研究会	〃	5回		
関西分析研究会	〃	3回		
材料化学研究会	〃	3回		

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名称	共催・後援団体	開催日	会場	講師等	参加者数
支部講演会		H7.3.8	日新製鋼	出口 武典	
湯川記念講演会(第1回)		H7.3.27	京大会館	村上 春夫	
〃 (第2回)		H7.9			
材料評価セミナー (実習つき講習会)		5回			

(3)見学会 ①H7.3.8 日新製鋼(株)堺製造所

(4)その他の事業 懇親会 H7.3.28

1.6 中国四国支部

1) 運営関係

(1)総会 H7.3.17 (2)評議員会 1回開催 H7.6 (3)理事会 2回開催 H7.7.21、H8.2

2) 事業関係

(1)研究会

名称	共催・後援団体	開催日	会場	主な内容
金属物性研究会	日本金属学会中国四国支部	3回開催		
材質制御技術研究会	〃	3回開催		

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名称	共催・後援団体	開催日	会場	講師等	参加者数
学術講演会(湯川記念講演会)	日本金属学会中国四国支部	H7.5.15	広島市	飯井 政博	
学術講演会(湯川記念講演会)	〃	H7.7.22	米子文化ホール		
講演大会	〃	H7.7.21	米子文化ホール		

(3)見学会 H7.7.22

(4)その他の事業 ものづくり教育を考える会「高校理科系教諭の製鉄所見学と鉄鋼技術者との懇談会」 H7.8 NKK 福山

1.7 九州支部

1) 運営関係

(1)総会 H7.3.17 (2)評議員会 1回開催予定 H7.3.17 (3)理事会 3回開催予定 H7.3.17、8.4、12.1(常任理事会)

(4)編集委員会 3回開催予定 H7.2.17、5.31、7.14

2) 事業関係

(1)研究会

名称	共催・後援団体	開催日	会場	主な内容
材料科学談話会		7~9回/年	未定	未定
材料工学談話会		5~7回/年	〃	〃
材料プロセス談話会		4~6回/年	〃	〃

(2)講演会・講習会・シンポジウム

名称	共催・後援団体	開催日	会場	講師等	参加者数
第86回講演討論会	金属学会	H7.3.17	住金 小倉	未定	未定
第87回学術講演会	〃	H7.6.9	熊本大学	〃	〃
第88回講演討論会	〃	H7.9.22	長崎大学	〃	〃
第50回湯川記念講演会	〃	H7.3.17	住金 小倉	〃	〃
第51回湯川記念講演会	〃	H7.9.22	長崎大学	〃	〃

(3)見学会(講演討論会に引き続き実施) H7.3.17 住金小倉製鉄所 H7.9.22 長崎大学工学部

(4)その他の事業

①高校理科系教諭の製鉄所見学と鉄鋼技術者・研究者との懇談会(開催日、会場:未定)

②「鉄と鋼」ISIJ情報ネットワーク支部だより(H7/11月号)の原稿作成